

<p>△産業宣教 ローマを見た産業人(使 18:1-4)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学 ローマ福音化を準備するレムナント(使 19:8)</p>	<p>△核心 ローマを見た弟子たち(使 19:21)</p>
<p>産業人と重職者、多くの弟子は、いつも考えるべきことがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今どんなこと-7・7・7 今御座のやぐら、旅程、道しるべが成り立っている。 2. 正確な契約は三つの流れを見ることだ。今も救いの働きは起こっている。そのことが中心だ。そこに従って、祈りの流れ、みことばの流れがある。これが三つの流れだ。 3. これを持って集中するとき、癒やしが起こり、力が現れるが、これを指してサミットと言う。 <p>神の国と神の国のこと、これが答えで与えられる。</p> <p>□序論_ローマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 237-5000 暗闇を止める 237、5 千種族がローマにいる。 2. 無知-次世代 これを分からなければ皆さんと次世代が困難にあう。奴隷、捕虜、属国、流浪の民になる。 3. プリスキラ夫婦 これを分かればプリスキラ夫婦が味わったことを当然味わうことができる。 <p>△今日も明日も教会で私が生きる間、最高の機会だ。私がこの教会長老としていながら、それが最高の機会だ。</p> <p>□本論_300%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 御座のやぐら 100%がプリスカ夫婦に來たのだ。それが何か。<u>使 2:10</u>に参加したのだ。カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋を体験したのだ。 2. 産業のやぐら 100%成り立った。<u>使 18:1-4</u>に神様が出会いの祝福を与え産業の祝福も与えられた。また、重要な会堂という答えの畑を与えられたのだ。 3. システム 100% <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 18:24-28 福音をよく伝えることができる絶対に揺れないレムナントのアポロに会った。 2) I コリ 16:19 プリスカとその家にある教会。むだな言葉だけ言う教会にプリスカ夫婦が入ったので生かされた。 3) ロマ 16:3-4 機会を逃さないのだ。 <p>△聖霊の満たし 私にキリストが与えてくださったやぐらで満たされること、約束された現場が生かされる御座の旅程に行くこと、産業に絶対やぐらを建てるのが聖霊の満たしだ。</p> <p>△青年の質問二つ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 青年たちが教会で必ずすべきことは何か。300%準備されなければならない。 2) 答えがみな出たがなぜ私の考えに捕えられるのか。人は私中心に行ってしまうが創 3、6、11 章に陥ってしまう。そのような考えになるたびに、安らかに祈る 24 するのだ。そして一回くらは時は集中するのだ。 	<p>レムナント、TCK はローマ福音化を準備する段階だ。まずいくつか分らないなければならないことがある。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過去-祝福の土台 (RT 7) - RT7 人は過去を祝福の土台にした。 2. 今日-最高の機会にしない。 3. 未来?300%の準備だ。祈りでやぐら、旅程、道しるべ、専門性、現場性、システム、伝道、宣教もこのように準備しなさい。100%は聖霊の導き、現場 100%は聖霊の働きで、システム、道しるべ 7 つは聖霊の実として準備すれば良い。 <p>□本論_証人(証拠)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史-福音-わざわい 奴隷、捕虜、属国、流浪の民の歴史が教訓だ。福音は神様がキリストを送って、そのキリストを信じることによって神の子どもになること、キリストが与えてくださったプレゼント、聖霊を受けることが福音の力だ。それが分からず、歴史に大きい「わざわい」が臨んだ。 	<p>2. 準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) キリストの当為性を使 17:1 で説明した 2) 礼拝-祈り(刻印)-安息日ごとに、礼拝と祈りがレムナントに刻印、根、体質化される。 3) 答え-神の国-流浪の民として行って世界福音化することができる答えが何か教えた、使 19:8 に神の国について大胆に説明した。 <p>3. 未来に対する備え</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 70 年-イスラエルは完全に滅ぼされた。 2) 79 年-ボンベイが爆発した。 3) 313 年-ローマは福音化された。 <p>□結論_インターンシップ-レムナントは金土日時代を通してインターンシップをしない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 3 集中、3 セットアップ、3 答えインターンシップをしない。 2. 編集、設計、デザイン-何を編集、設計、デザインすべきなのか 3. 今日、現場、システム(300%) - 今日と現場と未来システムが結局 300%するのだ。
	<p>△散らされた弟子たち ローマ福音化の主役(イザ 6:13)</p> <p>聖書で一番重要な単語キリストという単語の次に重要な単語 <u>Remnant</u> <u>残りの者、残る者、残れる者、残す者</u></p> <p>この人々をもってどんな単語を使ったのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 散らされた弟子たち 2. RT 3. TCK 4. 福音に反対になる文化圏に死んでいく CCK 5. 最初から文化がない NCK <p>(7-7-7) <u>24</u> <u>25</u> <u>永遠</u> これを(絶対やぐら- 300%、三つの庭、金土日時代)で答えをみな見つけた。それゆえ、これを味わう祈りだけ 24、25、永遠すれば良い。</p>	<p>ローマには 237、5 千種族がいるので、必ず行かなければならない。文化で影響を与える所が霊的なローマだ。そこに入り込まなければならぬ。また、パウロは集まる中心地を攻略した。ローマ、世の中行く前に必ず知らなければならぬことだ。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聖霊の満たし-300%<u>御座のやぐら、旅程、道しるべ</u> 2. 3 集中- 3 セットアップ、3 答えを持って行く。 3. 絶対やぐら-300%になってこそ三つの庭、金土日時代が開かれる。 <p>□本論_この答えを持って行く人が弟子(残りの者)、礼者、征服者=黙想時代(すでに答えを持って行くこと。私たちの武器は黙想運動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 癒やし-歴史を見た人 <u>Satan</u> イエス様が信仰生活を良くしていると思っていたユダヤ人に「サタンがあなたの家にやぐらを建てている」「あなたがたの父である悪魔」と言われた。初代教会も限界が来たが、パウロは「サタンの要塞を作ったおいた」と言った。打ち倒さなければならない。 1) 全世界はサタンの奴隷 2) 捕虜 3) 属国 4) 流浪の民-サタンの言いなりになる流浪の民、その中で福音を持って福音を伝える光の使い <p>2. やぐら、旅程、道しるべ それゆえ、この(序論)答えを持って皆さんの生活にやぐらを建てて旅程を歩き、道しるべを建てて、皆さんの教会も復興しなければならない。世界福音化するには皆さんの教会が生かされなければならない。ローマを見たというのは、ローマにやぐらを建てて、動いて道しるべ建てることを見たということだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 使 19:21(エペソ) -ローマも見なければならない 2) 使 23:11(法廷) -勇気を出しなさい。ローマでも証しをしなければならない 3) 使 27:24(危機、暴風) -パウロ、恐れてはならない。カエサルの前に立ちます。 <p>3. ローマの弟子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 支援者-危機が来たとき伝道者を保護 2) いのちをかけた同労者-全世界の伝道者といのちをかけて同労するほど祝福される。 3) ナルキソの家の人々-ナルキソはローマ皇帝の秘密文書担当。その家族△持っている才能をささげてローマを福音化した 4) 家主-私とすべての伝道者の家主。私たちは当然、世界福音化することが基準で、レムナントは当然時代を変えるのだ。その契約のほかは、みな捨てなさい。 5) 隠されていること-とても貴重な宝、隠しておく。私だけ知って、必ずあげなければならない人にだけ知らせる。この祝福を与えるということだ。

△区域メッセージ第 44 週 カルバリの丘の道しるべと永遠の答え(ヨハ19:30、使1:1)	△聖日 1 部 巡礼者の祈り(ピリ 1:1-11)	△聖日 2 部 巡礼者の旅程(ピリ 1:12-21)
<p>聖書には必ず知らなければならない7つの道しるべがある。そこで祈りの答え、産業復興がみな出てくる。 「カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アンティオキア、アジア、マケドニア、ローマ」だ。 その中で今日、私たちが見なければならぬのは「カルバリの丘の道しるべと永遠の答え」だ。</p> <p>□序論_完了した。</p> <p>1. わざわい-どんなものも止めることはできない。 2. 3のろい-サタン、地獄の背景、わざわざを完全に終わらせた。 3. 光-光の子どもとして呼ばれた。</p> <p>□本論</p> <p>1. 運命-キリスト-この道しるべはカルバリの丘の契約を通して私たちの運命をすべて変えてしまった。 1) 三位一体-キリストという単語は三位一体の神様の働きを味わうようになることだ。 2) 御座-キリストという単語で御座の祝福を味わうのだ。 3) 過去、今日、未来(ヘブ 13:8) -今日 過去・今日・未来をすべて解決してしまった。 ヘブ 13:8に「キリストは昨日も今日、とこしえに変わることがありません」</p> <p>2. 未来-カルバリの丘は私たちの未来が変わる道しるべだ。 1) マタ 28:16-20 カルバリの丘で復活されたキリストが「天と地の権威を持ってあなたがたといつもともにいます」 2) マコ 16:15-20 「わたしの名で悪霊を追い出して、病んでいる者に手を置けば癒やされ、御座に着かれたキリストがともに働かれた」となっている。 3) 使 1:8 「地の果てまで証人になります」私たちのすべての基準は、世界福音化することだ。</p> <p>3. 背景-カルバリの丘の契約は私たちの大きい背景になるのだ。 1) 御座の背景-目に見えないが運命を心配する必要がない、御座の背景だ。 2) 答えの背景-キリストの御名で祈れば答えを受ける背景がある。 3) 絶対-どんな問題が来ても、この背景は絶対という背景だ。</p> <p>□結論</p> <p>「やぐら、旅程、道しるべ」-キリストが結局は「7 やぐら、7 旅程、7 道しるべ」を説明されたのだ。 1. 24 味わい-これ持って安らかに祈りなさい。 2. 25 集中-一日に一回程度はこれを集中して祈りなさい。集中するとき、脳が生かされる。 3. 永遠 作品-永遠はもう作品が出て来るのだ。残りの生涯、神様の作品が出て来てこそ答えだ</p>	<p>□序論_何もできない初代教会に、先に与えられた三つのこと</p> <p>1. 福音の力(マタ 16:13-19) 1) 福音を本当に分かれれば力が生まれ教会、よみの門に勝ち、天国の鍵を所有</p> <p>2. 福音を味わう祈りのまことの力-巡礼者の力(マタ 16:20) 1) キリストのやぐらを建てなさい 2) その旅程を行きなさい 3) 道しるべ</p> <p>3. まことの答え 力を受けてエルサレム、ユダヤ、サマリア、地の果てまで証人(300%) 1) 勉強、事業の基準 2) 300%御座のやぐら(私に 100%)、御座の旅程(現場に 100%)、御座の道しるべ(システム 100%) 3) 聖書で答えを受けた人々</p> <p>□本論_祈りの奥義-私に 300%来るように巡礼者の祈りを始めなさい。</p> <p>1. 24 祈り-いつもあなたがたのために祈る(4 節) 1) 3 集中 朝(私を生かす祈り)、昼(人を生かす祈り)、夜(答えを受ける祈り) 2) 3 セッティング ブラットフォーム、見張り台、アンテナ 3) 3 答え 問題・葛藤・危機でなく答え・更新・機会の中に</p> <p>2. 25 祈り-大切なことを見分ける(10 節) 1) 特別集中祈り(朝、または、朝と夜) 2) 集中するとき、脳、霊、からだが生かされる。 3) 24 祈りの幸せを悟ってこそ可能(御座の力、神の国と神の国のことが成り立っている。)</p> <p>3. 永遠の答えとつながるとりなし祈り-あなたがたすべてのために(4 節) 1) 牧師-信徒のために、信徒は伝道者・牧会者・教役者のために 24、25、永遠の祈り 2) 朝、夜、集中祈り時間とりなし。このとき、御座の疎通 3) パウロの祈り(ロマ 1:9、I コリ 1:4、II コリ 1:11、エペ 1:2、ピリ 1:4、コロ 1:3、I テサ 1:2、II テサ 1:3、I テモ 1:2、II テモ 2:1)</p> <p>※神の国の奥義を悟って祈りで世界福音化したパウロ ※祈りを回復するならばすべてのこと回復 ※安らかに祈り始める、一日一度は 7・7・7 に集中。そのとき、癒やし、力、すべてできる。</p> <p>□結論</p> <p>1. 確信すること 絶対主権、絶対計画、絶対契約、絶対旅程、絶対目標にやぐらが建つ 2. この契約を悟った人がやぐら一か所だけ建てても、続けて動き 3. ひとりの祈りで世界を生かす。 1) プリスカ夫婦-使徒パウロが伝道することができるように一生責任を負った。 2) 私の生活の中で最も貴重なのが献金 3) ひとりの祈りで、御座の力で全世界を生かすことができる。 ※ 237、5 千種族を生かす人に間違いのないならば更新すれば良い。神様は今でも働いておられるゆえ、パウロが祈って答えを受けたとすれば、私も受けることができる。</p>	<p>□序論</p> <p>1. キリストが与えてくださったこと-祈りの中にいつもいるべき。 1) 御座のやぐら 2) 御座の旅程-行く所ごとに実が結ばれて人が生かされる 3) 御座の道しるべ-エルサレム、ユダヤ、サマリア、地の果て</p> <p>2. 祈りの奥義-父の約束を待ちなさい。 1) 24 味わい-一日中安らかに祈り 2) 25 集中-一日一度はイエス様がくださったことに集中 3) 永遠 作品が出てくる。</p> <p>3. 300%準備-私、現場、人とシステムを抜け出せないため 1) 専門性 100% -私とともにおられる神様、福音は完全 2) 現場性 100% -私たちが行かなければならない 7 旅程は完全 3) システム 100% -神様が私たちを導かれる道しるべは完全</p> <p>△皆さん 1 人のゆえに家系、会社、国が生かされるだろう。待ちなさい。</p> <p>□本論</p> <p>1. 聖霊の導き(私に対する 100%)-見つけ出しなさい。 1) 使 13:1-4 断食(集中) -人、場所、働き(こと)完ぺきに出てきた。 2) 使 16:6-10 道が閉ざされるとき 放棄 x、違うこと x 祈り→人生と世界変化 3) 使 19:1-7 だまされずに少しだけ祈れば世界福音化する門が開かれる。</p> <p>2. 聖霊の働き(現場に対する 100%) 1) 癒やし-現場で私、人を生かす祈り、力を受ける祈り開始 2) 世の中ができないことが出て来る。 1) 使 13:5-12 暗闇を打ち倒すこと 2) 使 16:16-18 医師が治すことができない病気の癒やし 3) 使 19:8-20 不治の病の癒やし</p> <p>3) 未来を生かす門 (1) 使 13:12 弟子になった総督 (2) 使 16:19-40 刑務所に働き (3) 使 19:21 ローマ</p> <p>△現場に行って 300%見つめれば答えが来る。いる所で 300%を作りなさい。</p> <p>3. 聖霊の実(システム 100%) -未来準備 1) 使 19:21、23:11、27:24 このように行く人はみな生かされた。 2) 使 17:1、18:4、19:8 会堂へ。3 庭、金土日時代、次世代の中にこのやぐら(序論)を建てれば良い。まことの答えは神の国 3) 70 年イスラエル滅亡、313 年この答えを持った者が流浪の民に出て行ってローマ福音化</p> <p>△生かす祈り、現場と人を生かす祈り、答えを見つける祈りをしなさい。一度は集中しなさい。この力を私たちの次世代と多民族に伝達</p> <p>□結論</p> <p>1. 100 年の答え(問題、危機が来た時) -巡礼者の小さい選択 2. 二種類(15 節)-試みにあつて争う人、もっと大きく福音を伝える人 3. 計算 x 神様との関係(21 節) -生きても死んでも。皆さんは神の子ども、世界福音化する人。福音がなければ世界は絶対にうまくいかないため。</p>